

よ り 使 い や す く !

★本館2階をリニューアルしました（その1）



2階に入っすぐの場所に「おすすめ本コーナー」を設置しました。季節や時事的なテーマで職員が選んだ本を置いています。



おすすめ本のとなりに「子育てコーナー」を設置しました。親子閲覧室のすぐ近くで、育児書や料理・洋裁、医療などの本を選べます。

心機一転の春。照明も明るくなった図書館で、新しい本と出会ってみませんか。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

大崎 梢

(おおさき こずえ 東京都生まれ)

書店勤務を経て、2006年連作短編集『配達あかずきん』（東京創元社）でデビュー。ミステリ小説を中心に、お仕事小説、青春小説など著書多数。近著には『本バスめぐりん。』（東京創元社）、『横濱エトランゼ』（講談社）、『ドアを開けたら』（祥伝社）など。

さまざまなジャンルの本を多数出版している著者ですが、今回は冒頭にも書いたデビュー作『配達あかずきん』を紹介します。

舞台は駅ビル内の書店、成風堂。そこには本にまつわるさまざまな謎が舞い込んできます。近所に住む老人に頼まれたという謎の探求本リスト。コミック「あさきゆめみし」を購入後、失踪した母の行方を捜しに来た女性。配達したばかりの雑誌に挟まれていた盗撮写真…。しっかりものの書店員・杏子と、勘の良いアルバイト店員・多絵のコンビがその謎を解いていきます。

「成風堂書店事件メモ」シリーズの第1作目ともなるこの本は、謎解きとともに書店の日常が垣間見えるのが楽しいところです。そこはさすが元書店員、本好き・書店好きの方には特におすすめです。ミステリではありませんが読後感がよく、短編集ということで気軽に手に取ってもらえるかと思えます。

(帷子分館 長江)

佐野 洋子

(さの ようこ 1938～2010年 中国北京生まれ)

絵本作家。作品に『100万回生きたねこ』『おじさんのかさ』（講談社）、『ねえとうさん』（小学館）など。講談社出版文化賞絵本賞や新美南吉児童文学賞など受賞多数。エッセイや小説、海外絵本の翻訳も手掛ける。2003年紫綬褒章受章。2010年11月永眠。享年72。

今回ご紹介するのは、『ヨーコさんの“言葉”ふっふっふ』（講談社）です。

ヨーコさんの“歯にきぬ着せぬ”エッセイは、多くの人の心をとらえ続けてきました。その中で選りすぐられたエッセイを、絵で見て耳で味わえる番組が、2014年NHKで放送されました。それが、元気と勇気がわいてくると評判になり、書籍化されました。

シリーズは第5弾まで出ていて、この本は、第4弾に出されたものです。ヨーコさんの日常が、淡々と、おもしろおかしく書かれています。

ですが、読み進めていくと、私の心にあったトゲトゲしたものが丸くなり、心が軽くなっていきました。

問題解決法やストレス解消法が書かれているわけではありませんが、読み終えたとき、あなたの心が、少しでも軽くなっていたら嬉しいなと思えます。

(本館 滝上)

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
019.5/ム/	どの絵本読んだらいいですか? 数千人もの子育てママから慕われつづけた絵本アドバイザー、向井惇子。そのあたたかくて気さくな、同時に芯のとおった講演の記録。講演時に展示した100冊リスト、東山絵本勉強会で配られた読みものリスト付き。	向井惇子/[述]	かもがわ出版
歴史・伝記			
210.5/オ/	大江戸武士の作法 江戸時代、名もなき武士たちはどんな家に住み、飲み食いし、どのような規律に従って生きていたのか? どんな仕事をし、どれ位の収入があったのか? 武士の暮らし、武術、仕事などの実態を、イラストを用いて丁寧に紐解く。	小和田哲男/監修	G.B.
288.4/ケ/	県民とともに 皇太子時代を含め、計15回にわたり岐阜県を訪問された天皇陛下。浩宮さまとの乗鞍岳登山、長良川天覧鶴飼…。2019年の退位を前に、天皇皇后両陛下、皇太子ご夫妻の岐阜県ご訪問の軌跡を写真で振り返る。		岐阜新聞社
291.5/イ/	岐阜地図さんぽ 一葉の地図や絵図に秘められた「ものがたり」を探す旅に出よう! 観光名所の今昔、消えた建物、盛り場の変遷、飛山濃水の文学と歴史の一断面…。地図に隠された知られざる岐阜、飛騨・美濃の姿を解き明かす。	今井春昭/編著	風媒社
297.9/ワ/	南極ではたらく 平凡な主婦の料理と生き方を変えた1年4カ月の南極暮らし。一念発起して南極地域観測隊の調理隊員になった著者が、昭和基地での生活について綴る。天かすをリメイクした「悪魔のおにぎり」のレシピも掲載。	渡貫淳子/著	平凡社
社会			
304/ヨ/	神は詳細に宿る 私たちはこれからどこへ向かうのか? 進化理論、科学信仰、戦争体験、国際情勢、気候変動、市場経済…。日本を代表する解剖学者が、あらゆる現象を論じつつ、ヒトの意識を「解剖」する。	養老孟司/著	青土社
331.8/ハ/	値段と価値 私たちが支払う“価格”は正当なのか? 現在の経済システムでは“値段”と“価値”は比例せず、まったく異なる基準で設定されているという事実を解明し、そうした経済と社会のあり方を問い直す。	ラジ・パテル/著	作品社
368.6/モ/	地面師 いま日本中で「地面師」という詐欺師集団が跋扈している。彼らは不動産の持ち主になりすまし、勝手に不動産を転売して大儲けしている。不動産のプロがコロッと騙された、複雑で巧妙すぎるその手口を紹介する。	森功/著	講談社
自然科学・医学			
450.9/モ/	東海のジオサイトを楽しむ 静岡県、愛知県、岐阜県、三重県は、日本列島の地学現象が凝縮した日本有数のジオサイト。「山頂にある1億年前の海の化石」「弥生時代の石器工場」など、見どころ盛りだくさんの地学スポットの壮大な物語を紹介する。	森勇一/著	風媒社
491.3/ヤ/	山中伸弥人体を語る iPS細胞誕生の裏話とは。NHKスペシャル「人体神秘の巨大ネットワーク」制作統括者との対談を通じて、山中教授が人体の不思議、再生医療の現状と未来、生命科学の魅力について語る。	山中伸弥/[著]	小学館クリエイティブ
493.7/7/	その症状って、本当に認知症? 認知症“もどき”なら治療で治る! 認知症と間違えやすい病気や、高齢者の認知機能を低下させる要因を、マンガやイラストをまじえてわかりやすく解説。自分でできる、認知症を進ませない工夫なども紹介する。	朝田隆/著	法研
技術・家政			
521.8/セ/	戦国の城の絵事典 歴史小説や大河ドラマと一緒に楽しむ便利な絵事典。戦国・近世の名城、城を構成する建造物の役割をはじめ、城の基礎知識、建設計画から完成までの流れ、城を攻める側・守る側双方の戦術を、豊富なイラストでわかりやすく解説。	中井均/監修	成美堂出版

547.8/ナ/	名古屋テレビ塔クロニクル	人間社
	2019年で開催65周年を迎える名古屋テレビ塔。その歴史を秘蔵写真約430枚でたどるほか、鈴木敏夫・竹下景子など著名人のインタビュー、ショートエッセイ、短歌なども収録。	
594.4/カ/	暮らしを楽しむタッセル Lesson	カナダ恵子／著 主婦の友社
	糸の束を二つ折りにしてネックで結ぶだけの、シンプルなタッセルの作り方を紹介。玉ねぎのような形がユニークなおニオンタッセル、巻き玉とタッセルのスカートを組み合わせたポルカや、アクセサリなどに応用する方法も掲載。	
芸術		
706.9/パ/	パリの小さな美術館	原田マハ／著 新潮社
	歴史ある邸宅、郊外の現代アート系、古城美術館…。パリの住人たちが愛するふだん着の美術館を紹介します。原田マハ、隈研吾ら5人のパリ通たちの偏愛美術館も収録。『芸術新潮』掲載を書籍化。	
芸能・娯楽		
778.2/キ/	樹木希林 120 の遺言	樹木希林／著 宝島社
	とにかく、世の中を面白がること。老いだって病気だって、自分の栄養になる。生・老・病・死など普遍的なテーマを中心に、樹木希林が残した120の言葉を厳選して収録する。巻頭には写真も掲載。	
795.8/サ/	現代オセロの最新理論	佐谷哲／著 マイナビ出版
	オセロ界きっての理論派による中級者向けの本格的オセロ戦術書。「オセロを一局通して、明確な指針を持って打ち切れるように」を基本コンセプトとし、実戦に頻出する形の考え方や手筋を効率よく学べるように解説する。	
日本文学—小説		
913.6/ア/	早朝始発の殺風景	青崎有吾／著 集英社
	始発の電車で、放課後のファミレスで、観覧車のゴンドラの中で。不器用な高校生たちの関係が、小さな謎と会話を通じて、少しずつ変わってゆき…。短編5編を収録。	
913.6/ウエ/	ニムロッド	上田岳弘／著 講談社
	やがて僕たちは、個であることをやめ、全能になって世界に溶ける…。あらゆるものが情報化する不穏な社会をどう生きるか。新時代の仮想通貨(ビットコイン)小説。第160回芥川賞受賞作。	
913.6/キノ/	炯眼に候	木下昌輝／著 文藝春秋
	実は信長には、誰よりも物事の本質をとらえる「眼」があったのではないかと。史実を踏まえつつ独自の着眼で、信長の知的、戦略的な面に光を当てた短編集。	
913.6/サイ/	永田町小町バトル	西條奈加／著 実業之日本社
	新人代議士の小町は、シングルマザーの現役キャバクラ嬢。待機児童、賃金格差、貧困…課題山積みの“子育て後進国”に、男社会・永田町に、小町は風穴を開けられるのか。	
913.6/シゲ/	木曜日の子ども	重松清／著 KADOKAWA
	再婚した妻の連れ子がひどいいじめにあい転校した先は、7年前、給食への毒物混入で無差別殺人事件が起きた学校だった。やがて静かなニュータウンで次々と怪死事件が起こり…。	
913.6/ナカ/	ふたたび嗟う淑女	中山七里／著 実業之日本社
	蒲生美智留による凶悪事件から3年。国会議員の資金団体に事務局長を務める藤沢優美は、野々宮恭子と名乗る投資アドバイザーの指南で資金の不正運用に手を染め…。	
913.6/ナカ/	神の島のこどもたち	中脇初枝／著 講談社
	終戦から7年経っても、米政府の統治下に置かれたまま、復興が進む日本本土から分離されている沖永良部島。高校2年生のカミたち島民は、本土への復帰を訴えるため活動を始めるが…。	
913.6/マチ/	1R1分34秒	町屋良平／著 新潮社
	考えすぎてばかりいる、21歳プロボクサーのぼくは、自分の弱さに、その人生に厭きていた。駆け出しトレーナーの変わり者、ウメキチとの練習の日々が、ぼくを、その心身を、世界を変えていく。第160回芥川賞受賞作。	

913.6/ムラ/	まつらひ	村山由佳／著	文藝春秋
	長野県御代田町の農園に嫁いだ舞桜子は伝統の龍神まつりを前に、夫と激しく交わる艶夢をたびたび見る。〈祭〉と〈日常〉、ハレとケの裂け目をめぐる、6つの禁断の物語。		
913.6/ムレ/	散歩するネコ	群ようこ／[著]	角川春樹事務所
	しっかり者で親切なクマガイさん、「旅人」をしていたコナツさん…。個性的で優しい「れんげ荘」の住人たちに囲まれて、キョウコは今日ものんびり幸せに暮らしています。「れんげ荘」シリーズ第4弾。		

日本文学—エッセイ

914.6/キリ/	80歳のマザーグース	桐島洋子／著	主婦と生活社
	歳を取るのはいいものだ。現役時代のようなしなみなくなり、思いどおりに生きる好機である。傘寿を迎えた桐島洋子が、人生を大いに楽しむ極意と家族のあり方を語る。桐島かれんとの母娘対談も収録。		
915.6/シイ/	世界の家族/家族の世界	椎名誠／著	新日本出版社
	世界のいろいろな国、民俗によって「家族」のありかたは奥が深く、「家族」の価値観もずいぶん違う。椎名誠が世界各地で出会った家族を、写真とともに紹介する。		

外国文学

929.1/チ/	82年生まれ、キム・ジョン	チョナムジュ／著	筑摩書房
	ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジョン。誕生、学生時代、受験、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちほだかる困難と差別を描く。		
933.7/キ/	心霊電流 上・下	ステイーヴン・キング／著	文藝春秋
	僕の町に希望に輝く若き牧師がやってきた。一家の友だちになった僕は、牧師お手製の電気仕掛けのキリスト像を見せてもらう。だが、無惨な悲劇が牧師を見舞った。心を破られた彼は神を呪う説教を行い、町から出て行くが…。		

本館 1 階 展 示 の ご 案 内

■開催中～3/10（日）■

難病の日図書展（RDD 世界希少・難治性疾患の日 2月28日）

■3/13（水）～28（木）■

パスファインダー展

パスファインダーとは、ある特定のテーマについて図書館で調べた場合の、文献や情報の探し方などを1枚にまとめたシートです。「医療」「郷土の歴史」など、様々なテーマのパスファインダーを展示します。

■3/30（土）～4/25（木）■

「飛山濃水の文学 明治・大正・昭和の郷土作家11人」展

明治から昭和にかけて活躍した岐阜県出身の作家を、岐阜県図書館で長年にわたり蓄積してきた資料と、県内外で保管されてきた貴重な資料とともに、「風土と言葉」という視点で紹介します。

貸出カードの登録内容を確認します

図書館の貸出カードの有効期限は**3年**です。有効期限が近づいた方にはカウンターでお声かけし、住所・電話番号等の確認を行います。

登録内容の確認のため、住所の証明できるものをご提示ください。ご本人がご来館ください。高校生以下の方は、保護者の方の証明でも可能です。

有効期限が切れても、貸出・予約等はできますが、ホームページ上での貸出更新ができません。また、期限から3年を経過すると、カードは除籍になりますのでご注意ください。

開館時間	【本館】 平日 10:00～19:00、 土日祝 10:00～17:00 【分館】 全日 9:00～17:00	休館日	毎週月曜日、毎月最終金曜日 3月 4,11,18,25,29日
------	---	-----	------------------------------------

スマートフォン用
サイト



「図書館だより」2019年3月号

発行：可児市立図書館 電話（0574）62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。